

2024年12月26日  
株式会社伊予鉄グループ

### 伊予鉄会館を建て替え 新たにオフィスビルに ～ 2028年末に完成予定 ～

株式会社伊予鉄グループ（本社：松山市、代表取締役社長：清水 一郎）は、「伊予鉄会館」（松山市大街道三丁目）の建て替えに着手します。

本計画では、BCP（事業継続計画）対応として、非常用発電機や防災備蓄倉庫を設置し、耐震・防災性能を強化します。利用者へのタワー式駐車場も完備。さらに、超高効率型エアコン、LED照明、調光センサー、断熱・遮熱性能に優れたガラスなど、省エネ仕様を積極的に採用。これによりカーボンニュートラルを推進し、環境に配慮した設計を実現します。計画では、「ZEB Ready※」の認証取得を目指しており、環境共創型の商業・オフィス複合型ビルとして、2026年春に解体着工し、2028年末の竣工を目指します。68年ぶりの建て替えとなり、長い歴史を引き継ぎながらも、松山市中心市街地のさらなる魅力向上を目指します。伊予鉄グループは「まちづくり」にチャレンジしてまいります。

※ZEB Ready：省エネによって年間の一次エネルギーの消費量を50%以上削減した建物



建物外観イメージ

## ■建物概要

項目	詳細
所在地	松山市大街道三丁目1番地1
構造規模	鉄骨造 地上8階建て（商業1層・オフィス7層）
敷地面積	1,175㎡
延床面積	約8,000㎡
総貸室面積	約5,500㎡（予定）
竣工予定日	2028年冬季

## ■建物性能

項目	詳細
BCP対応	非常用発電機（48時間）、防災備蓄倉庫
省エネ仕様	超高効率型エアコン、LED照明、調光センサー、断熱・遮熱高性能ガラス等
その他	システム天井、タワー式駐車場完備

※上記建物概要及び建物性能は現時点での計画であり、今後変更となる可能性もあります。

## ■「伊予鉄会館」の歴史



現伊予鉄会館ビルは昭和35年（1960年）に誕生。戦後そのままになっていた一番町駅舎跡地に、当時の松山で一番の高層ビルとして建設された。屋上には企業の広告塔が設置されたほか、松山で最初の電光掲示によるニュースも流され、松山の新名所になった。

## ■位置図



松山市の中心市街地である大街道電停前。松山市駅から市内電車で8分。近隣には県庁、松山市役所、ホテルなどがあり、ビジネスや観光に便利な場所に位置する。

以上

＝お問い合わせ＝

株式会社伊予鉄グループ 企画戦略課 担当：永尾（089-948-3274）